

2. 指標設定

成果指標	指標名	自殺者数の減少 (H21年度15名)	目標年度	H25	指標の設定理由			
	数値	—			豊後大野市は自殺者が多いため対策の強化を行う			
活動指標	指標	a ゲートキーパー受講数	b	フォーラム・講演回数	c	遺族支援実施率	d	
	数値	目標 450人	目標	33回	目標	80%	目標	

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H21	H22	H23
自殺者数の減少 (H21年度15名)	人	15 人	18 人	10 人
	%	100.0 %	83.3 %	150.0 %

活動指標名	単位	H21	H22	H23
a ゲートキーパー受講数	人	—	91 人 20.0 %	331 人 73.6 %
b フォーラム・講演回数	回		8 回 24.0 %	39 回 118.2 %
c 遺族支援実施率	%		50 % 62.5 %	90 % 112.5 %
d				

4. 課題と対応

課題
自殺者は減少傾向にあるものの、心に悩みを抱える方は増えている傾向にある。(ホットライン等の件数増加から)
対応（改善点等）
仲間づくりフォーラムや講演会等により、普及啓発を図り気づいてつなぎ合う地域づくりを目指す

5. 事業費・・・H21～H23（決算額）、H24（予算現額）

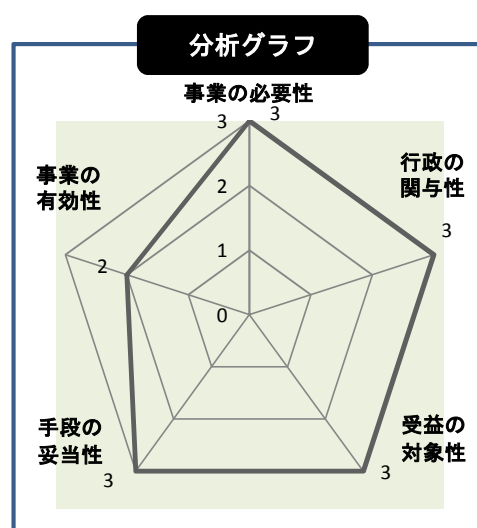
決算額（千円）		H21	H22	H23	H24
うち経常経費		222	1,883	3,701	4,941
財源内訳	国費				
	県費	201	1,836	2,141	2,173
	市債				
	その他			300	2,300
	一般財源	21	47	1,260	468
うち経常					
事業費に係る人件費		4,267	4,380	10,965	11,679

6. H25年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
市の重点課題としての位置づけで実施しているため

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 市の重要課題であるため
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 民間組織が多数立ち上がるまで、市が主体的に取り組む必要がある
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 市民全体が対象となる
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 目的達成のため適切な手段である
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	2 自殺率の減少はみたものの、経年的に評価する必要があるため



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	適切及び効果的な事業を展開すること。